

基本データ

日時：2019/02/08(金)・14(木)・18(月)・
22(金)・25(月) 毎回10:00-13:00

場所：近畿大学生協 西門前施設 3階 会議室

運営体制：職員3名 | (第3回のみ)共済連職員2名

参加者数：各回サポーター35名程度

目的/概要

近畿大学生協で、今年度から導入されたサポーター制度。サポセンに来てくれた新入生やその保護者の不安解消するために、また次年度以降もサポーター制度を継続するためにも、全5回の研修会を実施しました。

コンテンツ

- 《第1回》サポーター同士の交流
- 《第2回》新入生の気持ちに戻って考える
- 《第3回》生協や共済加入についての学習
- 《第4回》PCなどのモノと伝え方についての学習
- 《第5回》今まで学んだことを元にしたロールプレイング

01 学内の掲示板やLINEを使用してサポーターを募集

様々な場面で情報を得た学生約40名が集結

「募集ポスターを見て興味を持った」「所属しているサークルのLINEで情報が回ってきた」などといったきっかけから、様々な学部・学年の学生約40名が集結しました。

募集案内ポスターを学部掲示板に掲示する許可を大学からいただいたり、大学内で一番大きなサークルのLINEで募集案内を送信するなど、新学期活動を学生と共に作ることでより良いものにしたいという職員の強い想いがうかがえます。



「就活に役立つかなと思った」などといった理由から、活動に積極的な学生が多数応募!!

02 全5回の研修を通じた学生たちの成長

知識0から、立派なサポーターになるまで

研修会には毎回約35名程度のサポーターが参加し、サポセンに向けて準備を進めました。サポーター同士の交流から始まり、生協や共済、モノや伝え方についての学習、最終日には当日の新入生対応に向けたロールプレイングを行いました。

ロールプレイングでは、生協についてほとんど知識のなかった学生たちが、試行錯誤し、楽しみながら生協や学生生活について語る姿が見受けられ、これからのサポセン本格始動への期待が高まりました。

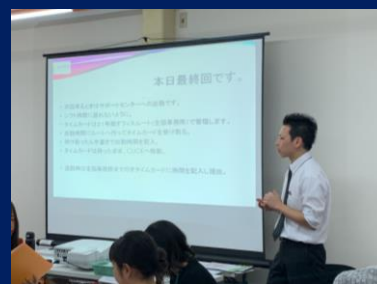


多くの組合員の学びに関わり、成長に携わるのも、大学生協の大きな役目です。

03 次年度以降のサポーター制度継続に向けて

職員主導から学生主導の新学期へ

「より安定した事業案内や共済加入の取り組みを行いたい」「サポーターの経験を通して学生にスキルアップしてほしい」という想いから、サポーター制度導入の第一歩を踏み出した近畿大学生協。今年は職員が主導となりメンバー募集や研修会を行ってきましたが、次年度以降は学生たちが主体となってこれらの活動をしていけるよう、サポーター向けアンケートや総括会議を計画しています。



次年度へ向けた確かなビジョンを元に、学生が主体となることで更にパワーアップした新学期活動を!

訪問者からひとこと

今年度から導入されたサポーター制度。今後は新学期キックオフセミナーへの参加や、給付事例学習会の実施などを通して、学生たちが今以上に自分たちのことばで学生生活を語るよう支援していきたいと思えます!



関西北陸ブロック
学生事務局
[西口 明穂]

